



るうてる

箱崎群教会共同体版

一月報 メッセージ
と証しー

発行 日本福音ルーテル箱崎教会

代表者 牧師 和田 憲明

〒812-0053 福岡市東区箱崎 3-32-3

TEL (092) 641-5440 / FAX (092) 641-5480

箱崎教会・恵泉幼稚園 <http://www.jelc.or.jp/hakozaki>

聖ペテロ教会・

奈多愛育園・るうてる愛育園 <https://aiikuen.net/>

CLICK

2022 じゆなんしゅう 受難週・復活祭(イースター)の ふっかつさい ご案内

教会の暦は悔い改めの^{しじゅんせつ}四旬節の^{きせつ}期節

今年は4月10日(日)の週が受難週です

そして4月15日(金) イエス・キリストが

人間の罪のために十字架にかかれる聖金曜日(主の受難日)を

また4月17日(日) 私たちの罪のゆるし

救いの出来事である復活祭(イースター)を迎えます

この時 平和の祈りをあわせたく ご案内いたします



† 4月15日(金) 聖金曜日(主の受難日)礼拝
(テゼ共同体の歌を用いて) 19:00~19:40 箱崎教会礼拝堂



救い主イエス・キリストの十字架に想いを馳せ み言葉にきく 黙想のひと時です

★ 4月17日(日) 復活祭(イースター)

☆ 10:30~11:15 復活祭(イースター) 主日礼拝 箱崎教会礼拝堂



主イエス・キリストの復活の恵みを とともに分かちあいましょう

- ・ 礼拝は、いつでも(一度だけでも)、どなたでも(信徒でなくとも)自由にご参加できます
- ・ 子どもたちには「祝福」や「こどもへのおはなし」がございます
- ・ 礼拝の見える隣の部屋を安心してご使用できます【エアコン・音響完備】
- ・ ご不明な点は気軽に牧師までおたずねください



3つの園より 卒園されるお子さんの 保護者の方々が「証し」(神さまからの自身への働きかけ) を寄稿くださいました 感謝しつつ おかちします (わ)

恵みに感謝

N・O (恵泉幼稚園保護者)

初めてのバス登園の日、振り返りもせずにさっさとバスに乗り込んで行ったのを昨日のここのように思い出します。息子はユニークな子で、いろいろな幼稚園でやんわりと入園をお断りされる中、子どもはみんな光の子ですよ、とおおらかに受け入れてくださったのがキリスト教の幼稚園でした。その幼稚園でのびのびと楽しく、いろいろなことができるようになりました。お友達もたくさんできて喜んでいた年少の冬に、夫が転勤になりました。途中から入園できる幼稚園があるだろうかと不安になりつつ、きっと福岡にもキリスト教の幼稚園があるはずと思い、出会ったのが恵泉幼稚園でした。

ここでも光の子としてあたたかく受け入れていただいて、大きく成長させていただきました。

息子の特性上、成長するにしたがって、ほかの人が普通にできることが自分は難しいと感じる場面が増えて、自信を無くしてしまうのではないかと心配していたのですが、ありのままの息子を受け入れていただいたことで、そのような心配は杞憂に終わりました。

というのも、寝る前に「息子はお父さんとお母さんの宝物だよ」と伝えているのですが、年長の冬のある夜、何かを思い出したのか「ほかの宝物は？」と聞いてきたので「お父さん」と答え、そのあともほかは？ほかは？とたずねるので、おじちゃんやおばあちゃん・・・などと答えていると「お母さん、自分のことも宝物にできるといいね」と言ったのです。息子に「自分のことが宝物？〇〇ちゃんも自分のこと好き？」とたずねると、自分のことが大好きと言ったのです。ありのままの自分を受け入れてもらったからこそ出た言葉だと思います。

また幼稚園で聖句のお話をしていただいたり、礼拝で神さまのお話をしていただいたりして、そこから受け取ったものを息子なりの言葉で家族に伝えてくれることもあり、そのわかちをよろこびました。



息子はなにかと不安になりやすいたちなのですが、恵泉でいただいた言葉や大切にしていたあたたかな経験は、これから先もずっと彼を支えてくれると思います。ありがとうございました。

子どもと私の成長

Y・Y (奈多愛育園保護者)

私と子どもたちが「奈多愛育園」にお世話になったのは、2010年から2022年3月までの12年という歳月です。

私には3人の子どもがおります。3人それぞれに保育園という新しい環境に慣れるまでの様子や成長過程での心と体調の変化に違いがありました。ひとりひとりの違いにそれぞれに向き合ってください、成長を支え見守ってくださったこと、たくさんの愛情を注いでくださったことを子どもたち自身が感じているので、3人とも奈多愛育園の先生方が大好きです。また、子どものことだけでなく親である私のことにまで気遣ってくださる一言にとっても救われました。

子どもが望むことばかりに応じることが、その子のためになるというわけではない。だからと言って、自分の思いばかりを押し付けてしまうことも違う…かけがえのない子どもであることに間違いはないのですが、ずっと向き合っていると息がつまってしまいそうなことや心が折れてしまいそうなことがありました。1人目の子とき、親としても未熟だったので人に相談することを恥ずかしく感じていたようにも思います。子どものことで先生から声をかけてもらったことで、「親だからといって自分だけで抱え込まなくて良いのだ」と、とても心が軽くなったことを覚えています。



奈多愛育園にお世話になったことで子どもはもちろんのこと、私自身も心の成長を実感しております。息がつまってしまいそうなときも心が折れてしまいそうなときも乗り越えることができ、親として成長しながら歳を重ねることができたこの12年間。そばに奈多愛育園の先生方が寄り添っていてくださったことに感謝しております。

娘にたくさん与えてくれた保育園

K・S (るうてる愛育園保護者)

るうてる愛育園での二年間は娘にとって、私達家族にとっても共に成長し、驚きと幸せに満ちた貴重な時間でした。

昨年は園での生活に娘は中々馴染めず、いつも先生の傍にいる様な内気な子でした。

お友達と遊んだ話を娘の口から聞くことがあまりなく、娘の少し寂しそうな顔

を見て、心配していました。

しかし、周りのお友達や先生方のおかげで、徐々に娘の口から「～ちゃんと遊んだよ！」「～君からお手紙もらったよ！」「明日は～ちゃん達とおうちごっこするんだ！」等の毎日、園での楽しい話を聞くようになり、とてもうれしく、心から安心できました。

いつしか、保育園に行くことが楽しくなり過ぎたみたいで、休みの日も「保育園に行く」と言うようになりました。

昨年の子長さんたちが卒園した後は、しばらく寂しそうにしていたのでまた内気に戻るかな？と心配していましたが、先生が娘の様子を細かに教えてくれて、「下のクラスの子に折り紙を教えてくれていました。」

「今日は遊びたいのを我慢して、お手伝いをしてくれました。」

「新しく入ってきたお友達を、自分から遊びに誘ってくれました。」

普段、家で見ている娘の姿とのギャップにとっても驚きました。ふと思い出すと、昨年の子長さんと同じ様な事をしているなと思いました。

いつも優しく格好よく、色々な物事を教えてくれた姿に憧れがあった様で、自分自身の殻を破り、立派な年長さんになっていく姿に親として誇らしい気持ちでいっぱいになりましたが、同時に娘の成長のスピードに少し寂しい気持ちになりました。

子供の成長は早いとよく言いますが、本当に実感した二年間でした。

るうてる愛育園で相手を思いやる気持ち、感謝する事、喜びを共にする事、自信を持つこと、人を愛する事、たくさんの事を教えて頂きました。

先生方には、いつも笑顔迎えてくださり、たくさんの経験を与え、見守って頂き心から感謝しております。

親子共々、るうてる愛育園の関係者の皆様、お友達に出会えてとても幸せでした。本当にありがとうございました。



【お知らせ】



教会は、YouTube でオンライン配信（毎週日曜日 10 時 30 分～）ほか、「こどもへのおはなし」などを常時アップしています。ぜひ一度、ごらんください。

